

平成31年4月5日
水管理・国土保全局下水道部

ICT活用技術の実用化を加速し、下水道事業の効率化を目指します！

～平成31年度 下水道革新的技術実証事業 等として9技術を採択～

国土交通省は、下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト^{※1}）として、平成31年度、ICTを活用した省スペース・省エネ型高度処理技術などの4技術について、実規模レベルの施設を用いた技術実証を行います。このほか、1技術について、導入効果などを含めた普及可能性の検討や技術性能の確認（FS^{※2}調査）を行います。併せて、下水道応用研究として4技術について応用化に向けた開発支援を行います。

※1 B-DASHプロジェクト：Breakthrough by Dynamic Approach in Sewage High Technology Project

※2 FS：Feasibility Study（導入可能性調査）

平成31年1月に公募を開始した平成31年度 B-DASH プロジェクト及び下水道応用研究に応募のあった技術について、学識経験者からなる第三者委員会を開催し、審査の結果、平成31年度の採択技術として、以下の9技術を決定いたしました（採択技術の詳細は別紙参照）。

<B-DASH 実規模実証>

- ① 単槽型硝化脱窒プロセスの ICT・AI 制御による高度処理技術実証事業
- ② ICT 技術（クラウド AI システム）を用いた汚水マンホールポンプのスマートオペレーションの実証
- ③ 水位計と光ファイバー温度分布計測システムに AI を組合せた雨天時浸入水調査技術の実用化に関する実証事業
- ④ AI による音響データを用いた雨天時浸入水検知技術の実用化に関する実証事業

<B-DASH FS 調査>

- ⑤ 汚泥の高付加価値化と省エネ・創エネを組み合わせた事業採算性の高い炭化システムに関する調査事業

<下水道応用研究>

- ⑥ 新規高性能ガス透過膜と高解像度モニタリング技術を導入した膜曝気型バイオフィルム法による排水処理の省エネ化
- ⑦ F0 膜を用いた超省エネ型下水処理システムの開発
- ⑧ 下水処理場における硝化阻害物質の高効率探索システムの開発
- ⑨ 下水道資源を最大限に活用した飼料用米栽培技術の開発と下水道の新たな役割の創造

<問い合わせ先>

水管理・国土保全局 下水道部 下水道企画課

課長補佐 村岡 正季、環境技術係長 溝上 洋介

TEL：03-5253-8111 [内線：34172、34134] 03-5253-8427(直通) FAX：03-5253-1596